YASUHARA CHEMICAL
ヤスハラケミカル株式会社

第56期

年次報告書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

株主の皆さまへ　To Our Shareholders

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申しあげます。

さて、第56期の事業概況についてご報告申しあげます。

当事業年度における日本経済は、経済・金融緩和政策を背景に円安・株高が進み、全体として緩やかな回復傾向が見られました。しかしながら、欧州債務問題や新興国の景気減速など、世界経済の下振れリスクが懸念され、先行きは依然として不透明な状況で推移しております。

当社を取り巻く経営環境についても、国内需要の低迷と価格競争の激化に加え、燃料費増加や原材料価格上昇の影響を受け、大変厳しい状況が続きました。

そのようななか、新規市場開拓を推進するとともに、生産性向上、業務効率化によるコスト削減に全力で取り組んでまいりました。その結果、当事業年度の売上高は11,329百万円（前事業年度比102.6%）、経常利益は517百万円（前事業年度比191.6%）、当期純利益は306百万円（前事業年度比345.5%）と増収増益となりました。

今後は、さらなる収益の拡大を目指し、新規顧客の開拓、既存取引先との関係強化を積極的に推進してまいります。また、高付加価値製品の研究・開発に努めるとともに、生産効率、業務効率の向上を図り、利益の創出できる経営基盤づくりに取り組んでまいります。

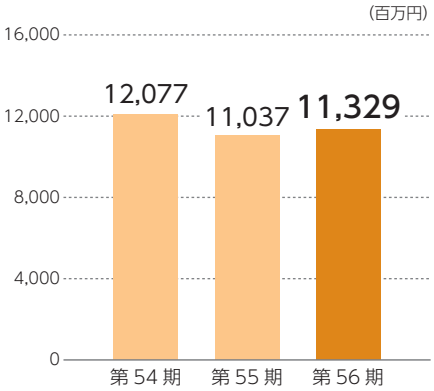
株主の皆さまにおかれましても、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

ヤスハラケミカル株式会社
代表取締役社長
安原禎二

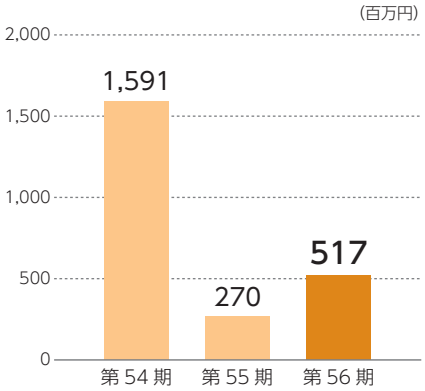
財務ハイライト　Financial Highlights

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

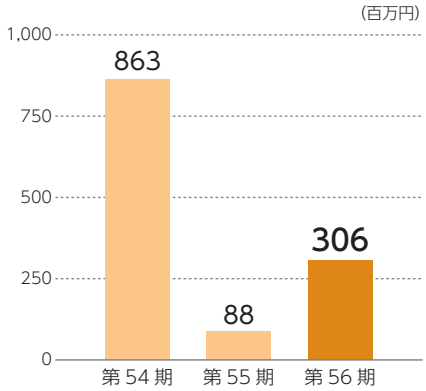
売上高



経常利益



当期純利益



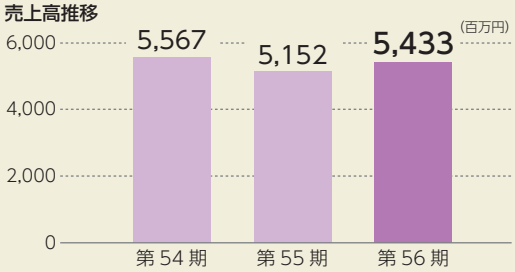
部門別の概況

Segment Review

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

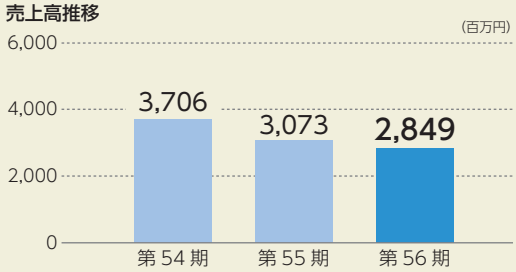
テルペン樹脂部門

電気絶縁テープ用途等のテルペン樹脂が、輸出を中心に低調に推移しましたが、土木関連用途のテルペンフェノール樹脂及び自動車用品用途の変性テルペン樹脂が好調に推移しました。その結果、部門全体の売上高は、前事業年度比105.5%と増収になりました。



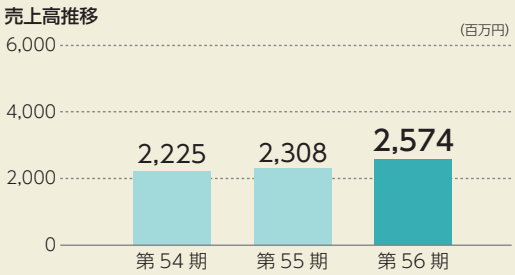
化成品部門

溶剤用途のテレピン油は好調に推移しましたが、電子材料用途のペースト溶剤及び塗料用途の機能化学品が需要低迷の影響を受け低調に推移しました。その結果、部門全体の売上高は、前事業年度比92.7%と減収になりました。



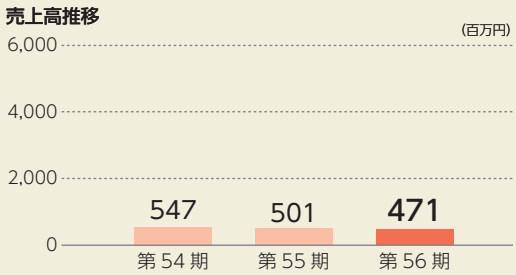
ホットメルト接着剤部門

食品包材用途の押出しコーティング用ホットメルト接着剤及び自動車部品用途の接着剤が、輸出を中心に好調に推移しました。その結果、部門全体の売上高は、前事業年度比111.5%と増収になりました。



ラミネートフィルム部門

製本向け光沢加工紙用ラミネートフィルム及び商業印刷用フィルムが、国内需要の低迷と価格競争の影響を受け低調に推移しました。その結果、部門全体の売上高は、前事業年度比94.0%と減収になりました。



ハイライト

こんなところにもヤスハラケミカル。目に見えないところで活躍しています。

■ 高機能舗装用アスファルト原料に採用

近年、高速道路や幹線道路には、排水を目的とした高機能舗装が積極的に導入されています。高機能舗装は、内部にある程度隙間を持たせることで、雨天時の水はけを良くした舗装です。走行音を低減する効果もあります。当社樹脂は、高機能舗装用アスファルト原料として、アスファルト改質に使用されています。耐摩耗性、耐流動性に優れ、轍（わだち）ができにくい舗装を実現しています。

■ 低燃費タイヤを実現

低燃費タイヤとは、タイヤを転がりやすくさせて、燃費を良くするタイヤです。ただし、転がりやすさのみを追求すると、タイヤは滑りやすくなり危険です。当社樹脂はタイヤの硬さを調整し、タイヤのグリップ性（止まりやすさ）を維持しながら、低燃費性能を向上させることができます。転がりやすさと止まりやすさという二つの相反する性能を同時に満たすことができるのです。

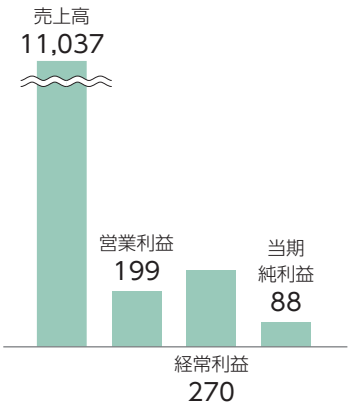
財務諸表

Financial Statements

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

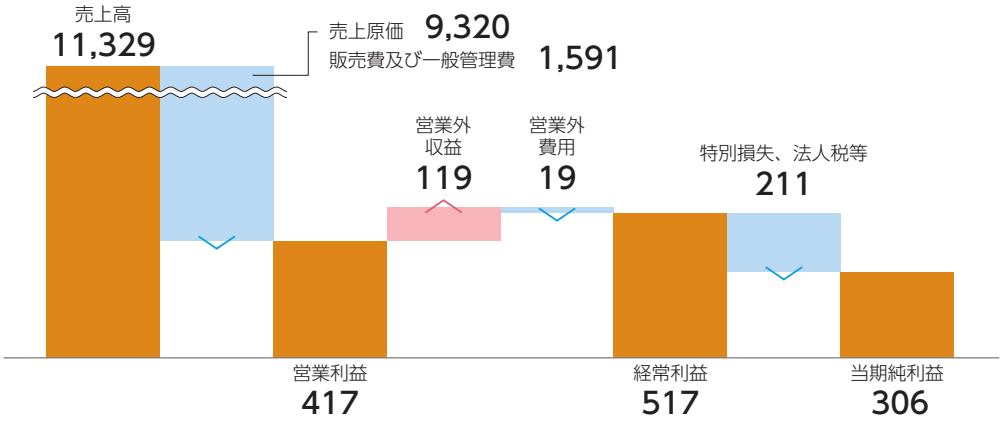
損益計算書

前事業年度
平成24年4月1日～平成25年3月31日



当事業年度
平成25年4月1日～平成26年3月31日

(百万円)

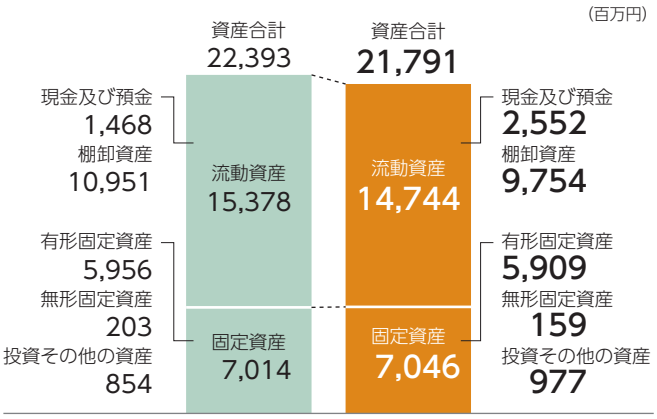


貸借対照表

前事業年度末
平成25年3月31日現在

当事業年度末
平成26年3月31日現在

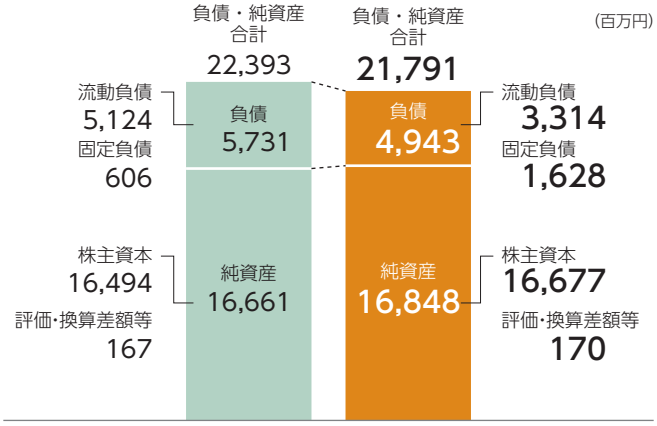
(百万円)



前事業年度末
平成25年3月31日現在

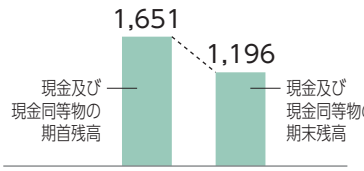
当事業年度末
平成26年3月31日現在

(百万円)



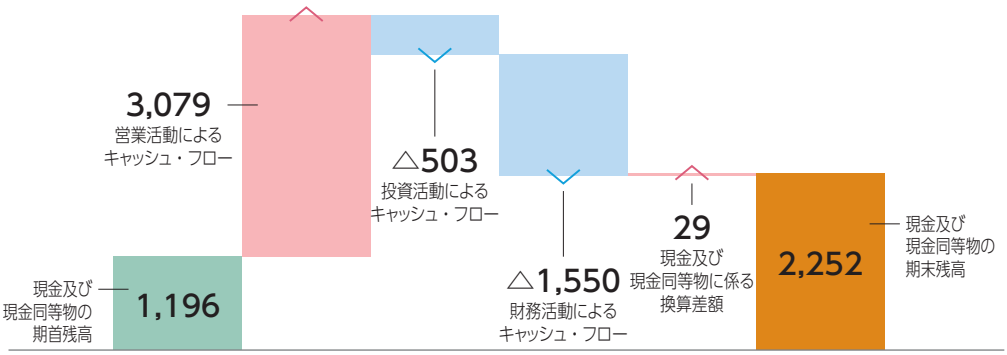
キャッシュ・フロー計算書

前事業年度
平成24年4月1日～平成25年3月31日



当事業年度
平成25年4月1日～平成26年3月31日

(百万円)



株式の状況（平成26年3月31日現在）

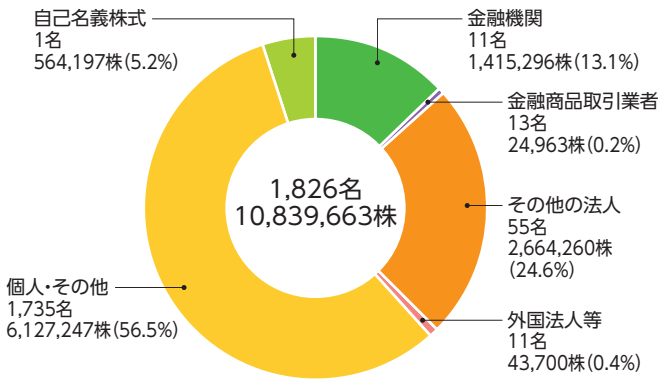
- 発行可能株式総数 …… 22,000,000株
- 発行済株式の総数 …… 10,839,663株
- 株主数（自己株式1名含む） …… 1,826名

大株主（上位10名）

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
ワイエス興産有限会社	1,237	12.0
安原禎二	1,191	11.6
ヤスハラケミカル取引先持株会	725	7.1
敷田憲治	694	6.8
株式会社中国銀行	511	5.0
槇本通	504	4.9
沖津妙子	462	4.5
有限会社宗江	373	3.6
有限会社マキ	373	3.6
後藤一紀	245	2.4

（注）1. 当社は、自己株式を564,197株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式数を控除して計算しております。

所有者別株式保有比率



（注）（　）内の数値は株式数の比率を表示しております。

会社の概況（平成26年3月31日現在）

商号	ヤスハラケミカル株式会社 YASUHARA CHEMICAL CO., LTD.
創業	昭和22年４月
設立	昭和34年２月24日
資本金	1,789,567,460円
従業員数	271名

主な事業内容

テルペン樹脂部門	テルペン系樹脂
化成品部門	合成香料原料、テルペン溶剤、ワックス
ホットメルト接着剤部門	ホットメルト接着剤
ラミネートフィルム部門	光沢ラミネートフィルム

営業所及び工場

本社	〒726-8632 広島県府中市高木町1080番地
東京オフィス	〒102-0071 東京都千代田区富士見二丁目７番２号 ステージビルディング４階
東日本営業所	〒180-0006 東京都武蔵野市中町一丁目19番18号 武蔵野センタービル４階
西日本営業所	〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田一丁目２番 2-1100号　大阪駅前第２ビル11階
高木工場	〒726-8632 広島県府中市高木町1080番地
鵜飼工場	〒726-0002 広島県府中市鵜飼町800番111
福山工場	〒721-0956 広島県福山市箕沖町117番
総領工場	〒729-3702 広島県庄原市総領町亀谷1065番１
新居浜工場	〒792-0892 愛媛県新居浜市黒島一丁目７番７号
川内工場	〒899-1924 鹿児島県薩摩川内市港町字松原360番14

ホームページ　http://www.yschem.co.jp/

役員（平成26年3月31日現在）

代表取締役社長	安原禎二	
常務取締役	沖津弘之	営業本部長兼技術部統括
取締役	敷田憲治	購買部長
取締役	飯村英男	生産本部長
監査役（常勤）	大原康徳	
監査役	前岡　良	
監査役	内林誠之	

（注）監査役前岡良及び内林誠之の両氏は、社外監査役であります。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月に開催
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社　大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777（通話料無料）
上場証券取引所	東京証券取引所市場第二部
公告方法	日本経済新聞に掲載

（ご注意）

1. 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

UD FONT　ユニバーサルデザイン（UD）の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。